

北陸地方整備局
阿賀野川河川事務所

資料配付



取扱い

H23年1月27日配布
をもって解禁とする。

阿賀野川「堤防切欠部」の洪水時の応急対策 一歩前進！！

阿賀野川に架かっているJR羽越本線阿賀野川橋梁の右岸側（阿賀野市側）の堤防の高さは、上下流の堤防の高さより約1.8m低くなっています。（別紙写真参照、通称：「**堤防切欠部**」）

この箇所は、堤防が低いため洪水に対する危険性が大きく、阿賀野川においては「**水防上最も重要な箇所**」のひとつです。平成16年7月13日洪水（既往第2位の規模）では、この箇所の河川水位が堤防切欠部の下1.2mまでせまる大出水となったため、地元の阿賀野市水防団が土のう積みの水防活動を実施しました。

切欠部の堤防の高さを上下流と同じにするためには、橋梁全体の架替が必要となり多大な費用を要します。このため、現状では出水時には水防活動により対応することとし、水防活動を速やかに行うために、あらかじめ土のうを作り現地に準備しておく等の対応をしております。

今回、更に短時間で水防活動が行えるように、堤防切欠部の延長を短くするための**コンクリートの壁**の設置を計画し、工事施工につき橋梁管理者であるJR東日本株式会社新潟支社の同意が得られたため、阿賀野川河川事務所が工事を実施するものです。

工事完成後も、洪水時には引き続き水防活動を行う必要がありますが、堤防切欠部を全て土のう積で塞ぐ場合、従来はその水防活動に約12時間程度要すると見込まれるのに対して、工事完成後は約3時間程度（作業時間は約15名程度で2000個の土のう積み作業を行ったとして推定）に短縮される見込みです。

○工事場所

新潟県阿賀野市下里地先（河口から18キロの阿賀野川右岸（JR羽越本線交差部））

○完成予定時期 平成23年3月上旬（2月1日頃着手予定）

○その他詳細 別紙

同時発表記者クラブ

・県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局

阿賀野川河川事務所

副所長（技術） 弘田 英人

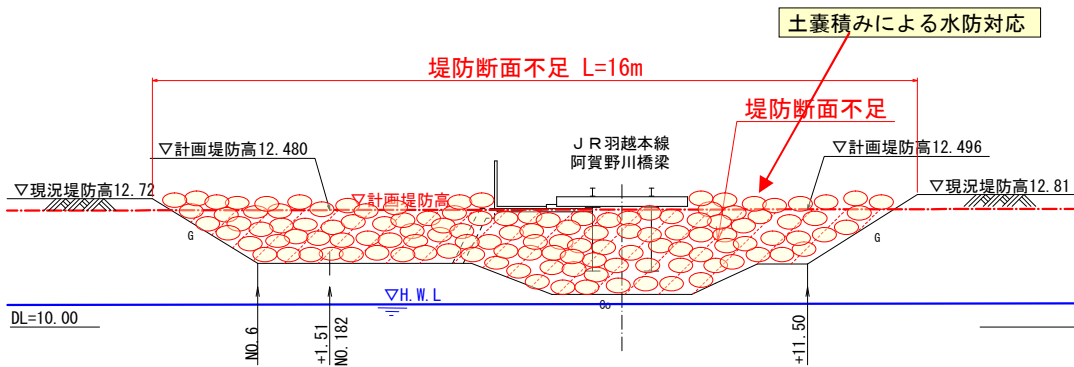
管理課長 三野 直人

電話 0250-22-2211



対策のイメージ図

(現 状)



(対 策 後)

